

平成19年3月21日(祝) 東京都産科オープンシステムに関する
公開シンポジウム

**「全国および東京都の
産科オープンシステムモデル事業の現状」**

母子愛育会愛育病院院長
中林 正雄

1

A. 日本の産科医療は世界トップレベル

2

出生数と妊産婦死亡の年次推移

	1950	1960	1970	1980	1990	2000	2004
出生数	234万	161万	193万	158万	122万	119万	111万
妊産婦死亡数	4,117	2,097	1,008	323	105	78	49
妊産婦死亡率 (出生10万対)	176.1	130.6	52.1	20.5	8.6	6.6	4.3

3

母体年齢層別出生数

	1980	1990	2000	2003
総出生数	158万	122万	119万	112万
35-39才	3.8%	7.6%	10.6%	12.4%
40才以上	0.5%	1.0%	1.3%	1.6%

4

母体年齢層別・妊産婦死亡率

	1980	1990	2000	2003
総数	20.5	8.6	6.6	6.1
年齢(才)				
20-29	10.1(1.0)	5.3(1.0)	2.6(1.0)	1.7(1.0)
30-34	29.8(2.9)	7.0(1.3)	9.1(3.5)	7.8(4.6)
35-39	99.8(9.9)	24.9(4.7)	11.9(4.6)	14.3(8.4)
40-	390.6(38.7)	101.5(19.2)	45.9(17.7)	22.3(13.1)

対10万出産数

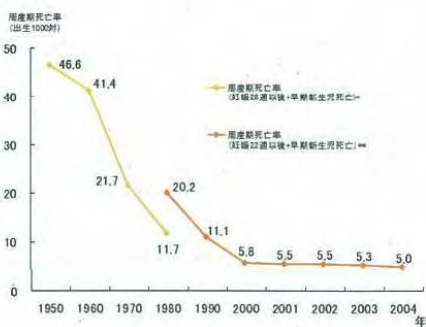
5

妊産婦死亡の年次推移



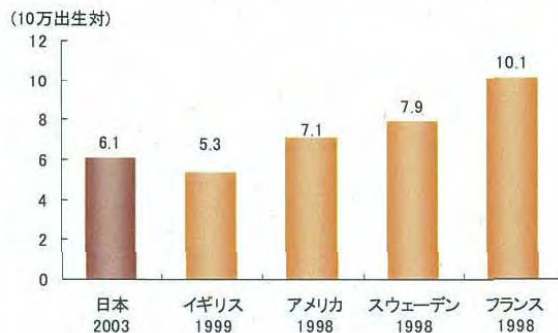
6

周産期死亡率の推移



* 1年間の周産期死亡数(妊婦22週以降の死産及び早期新生児死亡)を出生数で除したもの
 ** 妊婦26週以降の死産に早期新生児死亡を加えたもので、出生数で除したもの

妊産婦死亡率の国際比較



8